

秋田県設計VEニュース

Vol.12 H20.11.25

◆ 第41回VE全国大会で秋田県が事例発表を行いました。

10月30日～31日、アルカディア市ヶ谷において第41回VE全国大会「今こそSHINKAの瞬間（とき）」が開催されました。今回はマイルズ賞特別賞を我々VE推進研究会のメンバーである群馬県が受賞しています。また、公共事業部門では、秋田県と大分県が事例発表を行い、本県VEアドバイザーの横田尚哉氏（パシフィックコンサルタンツ㈱VEセンター長）は論文を発表しています。

発表者と題名は次のとおりです。

- 菅 尚文 秋田県 建設交通部技術管理室 副主幹 VEL
「受益者をメンバーに加えた混成VEによる秋田県での設計VE実践事例」
- 森崎 貴嗣 大分県 土木建築部建設政策課 副主幹 VEL
「地方自治体におけるVEの定着に向けた取り組み事例」
- 横田 尚哉 パシフィックコンサルタンツ㈱ VEセンター長 CVS
「公共経営に必要な社会基盤バリュー・マネジメントのすすめ」



（松田実行委員長の開会挨拶）



（横田氏の論文発表の状況）



（秋田県 菅氏の事例発表の状況）



（大分県 森崎氏の事例発表の状況）

また、「建設VEのSHINKA」トークセッションにも行政官庁（発注者）として、秋田県（菅氏）と大分県（森崎氏）が参加しています。テーマは「建設VEがWIN-WIN-WINになるために」で、コンサルタント（設計者）、ゼネコン（施行者）の3者が設計VEと総合評価を軸に活発に意見交換を行いました。コーディネーターは本県で「VE基礎研修」の講師を務めて頂いている穴戸利彰氏（ソルブコンサルティング代表）で、建設VE全体を官民が一緒になって最適化していく方策についての話し合いが行われました。



（トークセッションの参加者）



（秋田県 菅氏の意見発表の状況）

◆ VEアドバイザー業務のKOMを行いました。

今年度のVEアドバイザー業務のキックオフ・ミーティングが11月6日現地で行われました。対象の事業は国道285号（滝ノ沢工区）の道路改築事業で、トンネル、橋梁、砂防河川と非常に難易度の高い案件となっています。アドバイザーの横田尚哉氏（パシフィックコンサルタンツ株）とメンバーは設計概要を確認後、現地調査を行いました。



（設計概要の説明を受けるメンバー）



（橋梁位置の現地確認状況）

報 告：秋田県建設交通部技術管理室 調整・技術マネジメント班